JOYAMA NEWS

University of Teacher Education Fukuoka
Campus Magazine

vol.55
2024 Winter
Joyama通信
福岡教育大学広報誌

国立大学法人
福岡教育大学

特集1 教員採用試験合格状況
特集2 小学校の先生になろうプロジェクト
特集3 うきうきTeacher!

特集

教員採用試験合格状況

Joyama 通信 Joyama News
福岡教育大学広報誌
University of Teacher Education Fukuoka Campus Magazine
CONTENTS vol.55

02 特集
教員採用試験合格状況
合格者の声
教員採用試験合格に惜しくもあと一歩届かなかった人へ
10 特集
小学生の先生になろうプロジェクト
14 特集
うきうきTeacher!
16 福教大NEWS
18 学生広報チームi-na!と福岡大学学生広報サポーターとの交流会
19 サークル紹介
SDGsクラブ
ハンドボール部
20 教員紹介&学生から見た先生の魅力
学校教育研究ユニット
日髙 和美准教授
21 第32回 福教大卒OB&OG紹介
福岡市立高宮中学校 教諭
壱岐 龍慎さん
22 TOPICS
アンケートに答えて福教大オリジナルグッズをGET!
i-na!メンバー募集中!!
福岡教育大学基金のご案内
23 キャンパスからの便り

AIの活用により、経済、教育など様々な分野で急激な変化が進んでいます。科学技術の進歩を社会の豊かさに繋げていくために、教育に期待される役割は大きく、新しい学びの形態が模索されています。

さて、令和5年度実施の教員採用試験の合格状況です。ここ近年、非常に高い合格実績と合格率の水準を出しています。これは入学時から4年次まで継続した高い教員志望度を持って選考試験に臨み、念願が叶ったことを反映しているとみてよいでしょう。本年も先輩達に続き、多くの学生がしっかり“教員になる”という夢を現役合格という姿で実現しています。一方で、次を見据えて臨時教員任用を希望し、「福岡教育大学講師等希望者名簿」に登録するなどのステップを踏み出した学生も少なくありません。自分の進路を、なりたい未来を描いていってほしいと願っています。

キャリア支援センターでは、全学的な立場からキャリア形成支援を行います。2年次から4年次まで「教員採用試験のための特別講座」などを開講しています。進路相談、筆記試験、面接、集団討論、模擬授業対策に至るまで、きめ細かい指導が連続発展的に行われ、学生のチャレンジをしっかりとサポートします。これらはセンターのスタッフ、とくに最前線であたたかく学生をサポートされる就職支援アドバイザーや特命教授の先生方（校長職経験者が活躍されています）のご尽力によるものです。この場を借りて心より感謝申し上げます。

結びに、教育は公共性の高いもので、国立大学法人はその公共性をより担える存在です。本学は九州における教員養成の拠点大学として、生涯にわたり学び続ける有為な教育者を養成するという使命があります。学生の一人一人が自分の夢を実現できるように、これからも皆さんの学びを全力でサポートしていきます。

学生の前向きなチャレンジとその成果に敬意を表します。

キャリア支援センター長　服部　一啓

教員採用試験合格状況

令和５年度実施の教員採用試験の出願及び合格状況は、〔表１〕のとおりです。出願者数は昨年度よりも増加し、入学時から４年次までの高い教員志望度を反映して、前年度よりも多くの合格者を出すことができました。教員採用試験に向けた日々の努力が実を結び、高い合格率を維持しています。

また、自治体別の合格者の内訳は〔表２〕のとおりです。昨年度と比較すると、長崎県・大分県・福岡市が増加し、九州・沖縄地区全体での合格者数は昨年度を上回りました。

〔表１〕公立学校教員採用試験の校種別合格状況

（令和5年11月6日現在）

実施年度	小学校				中学校				高等学校				特別支援学校				その他				合　計				
	出願者数	1次合格者数	最終合格者数	合格率(%)	出願者数	1次合格者数	最終合格者数	合格率(%)	出願者数	1次合格者数	最終合格者数	合格率(%)	出願者数	1次合格者数	最終合格者数	合格率(%)	出願者数	1次合格者数	最終合格者数	合格率(%)	出願者数	1次合格者数	最終合格者数	合格率(%)	合格実人数
R5	398	372	304	76.4	116	101	83	71.6	59	36	21	35.6	66	61	45	68.2	1	1	1	100	640	571	454	70.9	425
R4	397	371	321	80.9	115	101	71	61.7	67	34	16	23.9	36	33	30	83.3	－	－	－	－	615	539	438	71.2	407
R3	392	373	316	80.6	133	111	77	57.9	68	41	15	22.1	53	51	36	67.9	－	－	－	－	646	576	444	68.7	408

※1 出願者数、一次合格者数及び最終合格者数は、延べ人数　※2 令和5年度は、令和5年11月6日現在の暫定値　※3「養護教諭」は、「その他」に計上　※4 各数値は、教育学部４年生、大学院生、教職大学院生及び特別専攻科生の状況

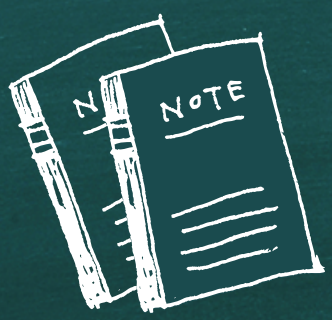
〔表２〕公立学校教員採用試験の自治体別合格状況

（令和5年11月6日現在）

自治体 / 実施年度	九州・沖縄											小計（九州・沖縄）
	福岡県	北九州市	福岡市	佐賀県	長崎県	熊本県	熊本市	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
R5	149	47	117	12	21	11	8	13	8	14	4	404
R4	161	46	111	11	11	8	13	5	5	16	4	391
R3	153	53	74	10	18	18	6	7	12	17	5	373

	山口県	広島県・市	岡山県・市	島根県	香川県	愛媛県	高知県	神戸市	愛知県	横浜市	その他	合計（全国）
R5	7	17	4	2	1	0	0	0	3	2	14	454
R4	9	20	4	0	2	3	1	0	4	1	3	438
R3	11	17	4	4	1	12	1	2	0	3	16	444

※1 数値は、自治体ごとの最終合格者数（延べ人数）　※2 令和5年度は、令和5年11月6日現在の暫定値　※3 各数値は、教育学部生４年生、大学院生、教職大学院生及び特別専攻科生の状況



特集 教員採用試験合格状況

合格者の声

福岡県教員採用試験
小学校　合格

初等教育教員養成課程 4年

大川 孟士（おおかわ たけし）さん

福岡県立光陵高等学校出身

サークルの大会の集合写真

①福教大での学びについて

教育実習

私が教員になると決めたきっかけは、3年生の本実習でした。1年生、2年生と様々な授業を受けてきましたが、教員として働く姿を具体的に想像することができずにいました。そのような中、本気で授業を考え行った本実習では授業の難しさを感じ、そして教師のやりがいの一つとも言える様な経験をすることができました。それは、私が行った他の授業とは比べ物にならないほど子どもが積極的になる授業を行えたことです。この授業を行った時、必死になるだけでなく私もとても楽しく授業を行え、将来目指したい授業の姿というものをこの実習で経験することができました。そして、教員採用試験の模擬授業でもこの経験を活かし自分の目指したい授業の姿を想像しながら模擬授業を行いました。

教員採用試験対策

私は大学での学修を頑張ったこともあり、教員採用試験の一次試験免除を頂くことができました。そこで、二次試験の模擬授業、面接、英会話の対策を特に頑張りました。模擬授業と面接は特別講座を受講し、グループで他の人の模擬授業の姿や面接の姿を観察し、自分のものとして日々練習を行ってきました。また、英会話の対策も特別講座を受講して練習を行いました。英会話に関してはどのような試験か想像ができなかったので、この講座を受講したことで、イメージすることができ、本番でどのようにすればいいかわからないという不安になることもなく英会話の試験に臨むことができました。

課外活動

私が所属しているアルティメットサークルでは、楽しいだけでなく本格的な大会にも多く参加し、本気でアルティメットというスポーツに取り組むことができました。3年生の後期以降、授業が少なくなりクラスの友人と会える機会が少なくなる中、本気でアルティメットに取り組んだサークルの友人とは週に何回も会えたので、教採に関する情報交換や励まし合いを行うことができて、私が教員採用試験に合格することができた大きな要素だと思います。

また、小学校でのボランティアやサークル活動に関するボランティアに主に参加しました。小学校のボランティアでは、水泳指導の補助を行い、実際に子どもの活動する姿や教師の指導する姿を見ながら水泳の授業を観察し、大学の授業では経験できない貴重な経験をすることができました。さらに、サークル活動に関するボランティアでは、アルティメットを知らない人にアルティメットを教えたり、ディスクの投げ方を教えたりする経験をして、分からない相手に一から教えるという教師という職に繋がる経験を積むことができました。

②教員として働くことへの意気込みについて

私は春から福岡県の小学校教員になります。やはり、まだまだ実際に働いてみないと分からなこと、大学で経験できなかったこともあると思うので、教師として働くことに対して不安や焦りの気持ちは大きくあります。ですが、どのような教員生活が待っているのか楽しみな気持ちもあります。教員生活では、4年間で学んだ多くのことを活かして頑張っていきたいと思います。また、変化していく教員という仕事に対応していくためにも私自身が学び続け、成長していきます。そして、4月までの今の期間も今できることを少しでも多く取り組んで、4月からの教員生活に備えることができるようにしたいです。

学生地区予選の写真

同期チームの写真

プレー中の写真

福岡県教員採用試験
高等学校　合格

中等教育教員養成課程
理科専攻 4年

久鍋（ひさなべ） 孔暉（こうき）さん

福岡県立福岡高等学校出身

教員採用試験対策講座のメンバー（一部）

①福教大での学びについて

私が“教師”という夢を追いかけるようになったのは、約7、8年前の中学生の頃です。最初は漠然と「かっこいいな」という憧れから入り、憧れを現実へと変えるために、私は4年前、福岡教育大学に入学しました。入学当初は新型コロナウイルスの影響もあり、入学式も行えず、思い描いていた大学生活とはかけ離れたものでした。やがて大学にも通えるようになり、今では、在学中に様々なことを学ぶことができたと実感しています。その中でも私は、教育実習、教員採用試験対策の2つにテーマを絞り、振り返りたいと思います。

教育実習

福教大の一番の強みは、教育実習が充実している点だと思います。本実習以外にも、附属実習や観察実習、インターンシップ実習等もあり、4年間の間で、私は計4回の実習に行きました。子供（生徒）と触れ合う機会というのは、アルバイト等でも確保することはできますが、実際に現場の空気や実態を把握する上で、教育実習に勝るものはないと感じました。現場に出たり、生徒と直接かかわることで得られることは本当にたくさんあるので、インターンシップ実習など、希望制の実習にもぜひトライしてみると良いと思います。

教員採用試験対策

福教大のもう一つの大きな強みは、教員採用試験対策がかなり充実している点にあると思います。実際に私が、高校教員の夢を叶えることができたのも、福教大に入ったからだといっても過言ではありません。普段の大学の講義内容や教育実習そのものが試験対策になることも多いですが、一番はやはり“採用試験対策講座”が大きな支えになると思います。対策講座は、3年生の秋ごろから始まり（2年生からの参加も受け付けているそうです）、1次試験の筆記試験や、2次試験の実技試験（福岡県は模擬授業、面接）の対策まで、かなり細かく、時間をかけて受けることができました。担当の先生方は、毎年合格者を出している先生方で、他では知ることのできない情報や、アドバイスも頂くことができます。他にも、同じ志を持つ仲間とともに、アドバイスや、励まし合いながら、本番まで戦うことができる点も、福教大ならではだなと感じました。この大学だったからこそ、最後まで諦めずに夢を叶えることができたと、実感しています。

②教員として働くことへの意気込みについて

私は、何年も前から教員という仕事を夢見て努力してきました。それが遂に来年度から叶い、実際に教壇に立つことを想像すると胸が高鳴ります。しかし、楽しみだけでなく、不安も同じくらいあります。経験がものをいう仕事でもあるので、来年度から他の先生方のようにできるだろうかと思い悩むこともあります。不安な点も多いですが、「いかに生徒のために動けるか」ということを念頭に置き、自分の理想とする“生徒から信頼される教師”になれるよう、精一杯努めたいと思います。そしていつか、他の先生方にも良い影響を与えられるような教師を目指します。

教育実習の様子

特集 教員採用試験合格状況

合格者の声

福岡市教員採用試験
特別支援学校教諭(小学部)　合格

特別支援教育教員養成課程 初等教育部
知的障害児教育専攻 4年

まえ だ み こと
前田 深理さん

宮崎県立延岡高等学校出身

①福教大での学びについて

教育実習

私は特別支援教育教員養成課程に所属しており、附属小学校と特別支援学校、2校の教育実習に参加しました。教育実習は、私の大学生活の中で1番の濃い思い出です。実習中は、授業が上手くいかなかったり、子どもとの関わり方に悩み、落ち込んでしまったりすることばかりでした。しかし、教育実習は教師になる上で自分の課題が多く見つかった期間であると同時に、多くの先生方や子どもに出会い、関わったことを通して、教師になりたいという気持ちを再確認することができた期間でもありました。教育実習を通して、改めて特別支援学校の先生になりたいと強く思いました。

教員採用試験対策

私が教員採用試験に合格できた背景には、同じ志をもつ多くの友人の存在があります。大学受験の時以上に、友人の存在に支えられ、助けられたと感じています。一次試験の対策では、お互いに勉強の進捗状況を報告し合ったり、一緒に図書館にこもって勉強をしたりしました。試験対策期間中は思うように点数が伸びずにつらい時もありましたが、その度に友人からの言葉や、隣で頑張っている姿に励まされました。推薦で一足先に合格が決まり二次試験の面接練習に付き合ってくれた友人や、予想問題を作成してくれた友人もいました。試験当日も、同じ会場に友人の姿が見えるだけで、心強く緊張感もほぐれました。共に頑張ってきた友人の合格の知らせが届いた時には、自分のことのように嬉しく思いました。つらい期間を互いに切磋琢磨しながら乗り越え、励まし合った友人の存在には、とても感謝しています。また、教員採用試験の勉強をする際にはキャリア支援センターの先生方に大変お世話になりました。私は面接と模擬授業のどちらも苦手でしたが、キャリア支援センターの先生方のご指導の下、繰り返し練習をすることで自分の弱点を見つけ、改善をしていくことができました。何度も練習していたおかげで、本番でも緊張をすることなく自分の実力を発揮することができたのだと思います。

教員採用試験に向けて大学全体が一致団結し、頑張ろうとする雰囲気の中で勉強できたことが、合格につながったのだと感じています。

研究室のメンバーと

②教員として働くことへの意気込みについて

私は、春から福岡市の特別支援学校の教員になります。これから始まる教員生活に向けて今はまだ多くの不安がありますが、それ以上にこれからどんな子どもたち、先生方に出会えるのだろうという楽しみな気持ちがあります。大学生活では、先生方や友人を始め、多くの方々との出会いがあり、貴重な経験を積むことができました。その1つ1つが今の私の自信となり、これから始まる教員生活に希望を与えてくれています。時には壁にぶつかることもあると思いますが、そんな時は福岡教育大学での4年間の学びを生かして乗り越えていきたいです。どんな時でも子どものことを第1に考えて行動のできる教員になれるよう、日々努力を重ねていきたいです。

サークルの同級生と

サークルの集合写真

実習班のメンバーと

学校法人冨永学園
春日小鳩幼稚園　採用
初等教育教員養成課程
幼児教育選修 4年

川添（かわぞえ） 穂香（ほのか）さん

福岡県立春日高等学校出身

幼児教育選修集合写真

①福教大での学びについて

幼児教育選修での学び

私は幼児教育選修の温かい雰囲気の中で、優しくて個性豊かなクラスのみんなと一緒に楽しい4年間を過ごしました。授業では理論だけではなく、竹でおもちゃを作ったり、道端に落書きをしたりするなど、様々な実践を通して、幼児教育について深く学ぶことができました。また、附属幼稚園で子どもたちと関わる機会も多く、実際の現場でしかできない貴重な経験もたくさんありました。ルームでは、自分の興味のある分野の研究を行ったり、誕生日会をしたりなど、友達とワイワイしながら活動しています。コロナウイルスの影響で多くの制限がある中、助け合える友達や寄り添ってくださった先生方のおかげで、充実した大学生活を送ることができました。

幼稚園教諭に決めたきっかけ

私は小さいころから自分が通っていた保育園の先生に憧れて、幼児期の子どもたちの先生になりたいなと思っていました。大学に入る前はそんな漠然とした思いでしたが、学生生活の中での教育実習や保育園でのアルバイトを通して、先生になりたい思いがより一層強くなりました。

子どもたちと関わっていく中で、私が言葉かけしたことで成長していたり、準備した保育を楽しんでいる姿を見たりして、とてもやりがいを感じました。これからもたくさんの子どもたちとの出会いを楽しみながら一緒に成長していくことができる幼稚園教諭になりたいなと思っています。

就職活動について

私は6月頃から福岡の幼稚園や保育園についての情報を集め始めました。また、幼教の先輩方やキャリア支援センターの先生に相談し様々な就職説明会を紹介していただきました。その就職説明会の中で気になった園に自分で電話をし、見学や自主実習に行きました。私は7月から9月までたくさんの園に見学に行き、自分に合った園を探しましたが、結構バタバタすることもあったので、早めに行動すると良いと思います。

就職試験対策

私が採用試験を受けた園は、子どもたちの前での絵本の読み聞かせとピアノの弾き歌い、面接が試験内容でした。そのため、友達に手伝ってもらいながら実技の練習をしました。面接はキャリア支援センターの先生にアドバイスをもらいながら志望理由や自己分析をまとめて練習していました。大学での実習の経験や、面接練習のおかげで本番では落ち着いて試験を受けることができました。

②幼稚園教諭を目指す後輩に一言

私は来年の春から幼稚園教諭として子どもたちと一緒に過ごすことができることがとても楽しみです。不安もありますが、笑顔を忘れずに、大学生活で学んだことを活かして子ども達ひとりひとりと丁寧に向き合っていこうと思っています。

幼稚園教諭や保育士を目指す皆さんも、不安や分からないことがたくさんあると思いますが、大学で楽しみながら学び、自分に合った園を見つけられるよう応援しています。

ルームで誕生日会

授業で道端に落書き

幼児教育選修のみんなと学祭

特集 教員採用試験合格状況

合格者の声

福岡県教員採用試験 高等学校　合格

大学院教育学研究科教職実践専攻
教育実践力開発コース　1年

やま もと　かず ね
山本 和音 さん

福岡県立香住丘高等学校出身
福岡教育大学中等教育教員養成課程
理科専攻出身

①福教大での学びについて

教職大学院進学を決めたきっかけ

私は福岡教育大学の中等教育教員養成課程理科専攻を卒業し、福岡教育大学大学院教育学研究科教職実践専攻（教職大学院）教育実践力開発コース中等教科教育高度実践力プログラムに進学しました。学部生の頃、教育に関する勉強を進めている過程や教育実習、教員採用試験の際に教員になりたい自分と向き合う場面がありました。その中で、自分は本当に教員になって大丈夫なのかという不安を抱きました。教員の不安な気持ちは、きっと生徒にも伝わってしまう、そう考えた私は、自信を持って教壇に立てるように少しでもレベルアップしたいと思い、教職大学院へ進学することにしました。

教職大学院で学ぶことの良さ

高い志を持った仲間と共に学べることがなによりの良さだと思います。教職大学院では、教師になるために高みを目指す仲間や、現職の先生方と共に過ごします。授業ではグループワークが多く、他様な立場の意見を聞くことができ、実際の現場を想定しながら考えを深めることができます。このように学校種や教科、年齢を問わないさまざまなつながりを持ちながら、切磋琢磨することができます。

また、教職大学院ではTA実践インターンシップや教育実践コラボレーション実習というようなさまざまな実習が設定されています。これらの実習を通して複数の学校種の現場で経験を積むことができます。大学院では「理論と実践の往還」というものがとても大事にされており、授業やゼミ、課題演習で教育についての理論を学び、学んできたことをTA実践インターンシップでチャレンジし、その経験を日々の学びに活かしていくというサイクルになっています。このサイクルから自分の強みや課題を発見し、活用方法、改善方法を考えることができます。これらの学びが私を成長させ、高校の教員になりたいという気持ちをさらに強くしました。

中西ゼミのみんなと

ゼミ風景

大学院の仲間と

教員採用試験対策

教職大学院に進学すると、自治体によっては修了を条件に1次試験が免除になる制度があるので、この制度を利用し、6月頃から2次試験の対策を行いました。対策は大学院の教授や合格している仲間に見てもらいました。大学院の授業での学びや実習での学びを活かしながら過去3年分の模擬授業に取り組み、自分なりの流れを見出し、面接も知識を蓄えながら練習することで、自信を持って答えられるようになりました。この背景には仲間や支えてくれる人の存在があります。多くの方々の支えが無ければここまで来れなかったでしょう。教員採用試験はメンタルも大事です。これから受ける皆さんも決して1人で立ち向かおうとせず、協力して頑張ってほしいと思います。

②教員として働くことへの意気込みについて

私は再来年の春から（注1）福岡県の高等学校理科（生物）の教員になります。いよいよ夢が叶うのだと思うとドキドキしますし、いつか出会う生徒や先生方のことを考えると楽しみで仕方ありません。目標である生徒に寄り添い続ける教員になれるよう、大学院を修了するまでとことんレベルアップして、現場に出ても学び続けようと思います。

教員として働くことがとても楽しみですが、現場に出ると課題や苦悩もあると思います。そのときは、大学、大学院での日々を思い出し、その中で得たつながりを大切にしながら日々を過ごしたいと思います。そして生徒が立ち止まったときには、寄り添いながら共に進んでいける教員でありたいと思います。

注1：大学院1年次や大学院進学予定者が学部4年次に教員採用試験に合格した場合、多くの自治体で採用候補者名簿登載期間を延長する制度を利用できます。その場合、大学院修了後まで採用が猶予されます。

プライベートも充実しています。

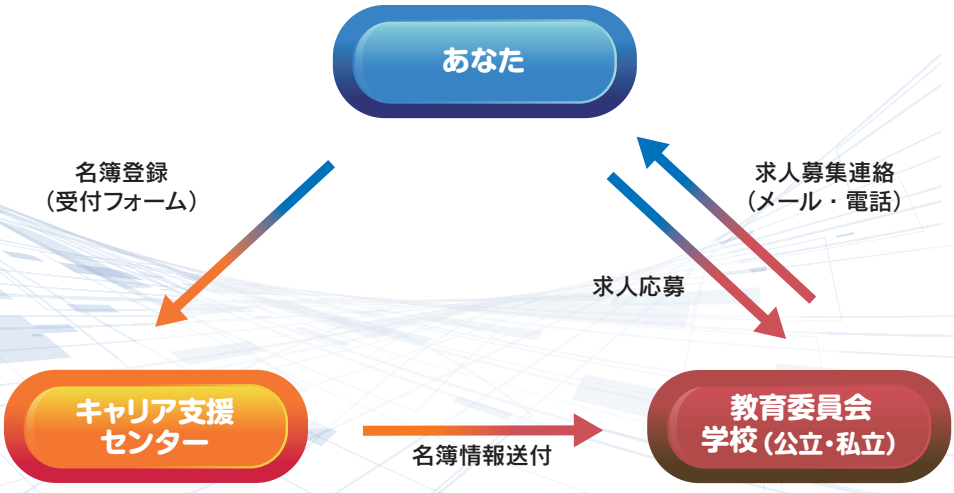
教員採用試験合格に惜しくもあと一歩届かなかった人へ

家入就職支援アドバイザー

教員採用試験合格を目指してがんばってきたが、惜しくもあと一歩届かなかった人もいます。
大切なことは、まずここで教師を目指す気持ちや信念をもう一度確かめることです。
そして、自分の課題はどこか、何を伸ばせばいいのかという自己分析を改めて行うことです。
自分の目標をしっかり定め、具体的な方策を考えて実行していくことで、今後の生活をよりよい充実したものにしていきましょう。
具体的な進路選択の例をご紹介します。

選択肢の例	特徴
①公立学校の講師に就職	教育現場で経験を積み、教師としての実践力（学級経営、指導力など）を身に付ける機会に恵まれています。収入を得られるのもポイントです。働きながら教員採用試験に向けた受験勉強を行うことになるので、筆記試験のための勉強時間作りに努力や工夫が必要です。
②私立学校の教員・講師に就職	現場経験を積んで、教師としての実践力を身に付けられる点や、収入が得られる点は公立学校と同じです。公立学校のような転勤がない学校が多いため、長年にわたって勤務する場合は自分の経験を生かしやすいです。学校にもよりますが、少なくとも一年間は講師（雇用期間の定めのある職）として採用されることが多いです。
③教職大学院へ進学	教職についての理論と実践を深く学ぶことができます。公立学校教員採用試験の受験時に特例措置（試験科目の一部免除、合格後に大学院修了まで採用を待ってもらえるなど）を設けている自治体が増えてきています。進学にあたっては授業料等が必要になります。（奨学金を活用することも可能です。）

「福岡教育大学講師等希望者名簿」に登録しよう！



登録はこちらから

※連絡先変更や情報提供不要になったらキャリア支援センターへ連絡を！
TEL：0940-35-1249　FAX：0940-35-1759　E-mail：csc-jimu@fukuoka-edu.ac.jp

「福岡教育大学講師等希望者名簿」は、教育委員会等が作成する講師名簿等とは異なり、キャリア支援センターが独自に作成している名簿です。講師を募集する学校等（教育委員会を含む。）に名簿登録者の情報を提供します。学校等から名簿登録者へ直接、求人募集の連絡があります。
講師としての勤務を希望する自治体が明確な方は、それぞれの教育委員会への講師登録手続きも忘れずに行うことをお勧めします。

教育総合研究所「教師の魅力向上につながる学生支援プロジェクト」

小学校の先生になろうプロジェクト

ここ数年の学校教育について聞こえてくるニュースは、「教師という仕事」へのネガティブな印象を感じるものが多くなっています。このため、世間では「教師という仕事」について夢を語ることもタブーのような雰囲気が漂っています。もちろん学生1人1人の内には、「教師になりたい」という強い思いが秘められているのでしょうが、お互いにそれを語り合い、刺激し合うような機会が乏しくなっています。

このプロジェクトは、「自分は教師としてやっていくんだ」という強い信念を持って教職に就くことができるよう学生を支援することを目的としています。このプロジェクトを通して福岡教育大学の皆さんが、自信や前向きな気持ちを持って学校教育現場に巣立っていけるよう様々な活動に取り組んでいます。

小学校の教員を目指す初等教育教員養成課程には、各学年約380名の学生が学んでいます。しかし、クラスが異なるとなかなか知り合う機会がありません。「小学校の先生になろうプロジェクト」は、クラスの枠を超えて同じ目標を持つ者同士が出会い、「小学校の先生になる」思いを語り合い刺激し合える場をつくっていくプロジェクトです。

※この事業は令和5年度文部科学省委託事業（教師の養成・採用・研修の一体的改革推進事業）としても実施しています

学生同士の交流

初等教育教員養成課程に入学した1年生同士で福教大を選んだ理由や入学して驚いたことなどを語り合う交流イベントを行いました。

参加者の感想

初めて出会った人でも話していると、同じ夢を持つ仲間としてとても楽しかったし、クラスは違うけれどすぐに仲良くなれました。自分とは違った教員を目指すきっかけなどを聞けたことで、少しだけですが視野が広がった気がします。話している中で、部活や寮など共通の友達がいることもわかって、人脈が広がりそうです！

附属小学校教育実習担当者との交流

3年次には附属小学校での教育実習が行われます。学生にとっては期待とともに大きな不安もあります。そこで、3つの附属小学校それぞれの教育実習を担当している先生とのオンライン交流を行いました。

参加者の感想

附小の先生の人柄や実習を充実させるコツなど、初めて知ることだらけで、得した気分になりました。楽しいおしゃべりや丁寧に質問に答えてくださったおかげで実習が少し楽しみになってきました。

福岡県教員採用試験担当者との交流

教師になるために避けては通れない教員採用試験。その担当をしている福岡県教育庁教職員課の方に、試験のことやそのために学生の間に取り組んでおくこと、教師という仕事の魅力についてのお話を聞きました。

参加者の感想

教採に対しての不安要素が結構解消されました。教採のためだけの勉強ではなく、大学の授業を大切にし、学生の間に多くの経験をすることで、学んだことが子どもへの指導に活かされるというお話が印象に残りました。教採はふるいにかけるためのものだと思っていたけど、話を聞いて考え方が変わりました。

福教大卒1年目の先生との交流

去年まで福教大生だった先生と交流しました。
先生になってみて予想と違ったことや私生活のこと、学生の間に取り組んでおくと教師となっても役立つことなど、経験者だからこそわかるお話を先輩だから色々遠慮なくお聞きしました。

参加者の感想

自分たちの数年先をイメージする貴重な機会となりました。小学校の先生として働いている先輩たちは、とてもきらきらして輝いて見えました。「大変だけど楽しい」「子供たちの純粋な姿に勇気づけられたり癒やされたり」と笑顔で話している姿を見て、ますます小学校の先生になりたいという気持ちが強くなりました。

小学校の先生を目指す他大学の学生との交流

違う環境で同じ目標を持って学ぶ者同士で交流することで、新たな刺激を得ることを目的として、九州女子大学、愛知教育大学、北海道教育大学の教員養成課程の学生とオンラインで交流しました。

参加者の感想

カリキュラムや模擬授業など異なることも多く、それぞれの大学の特徴を感じました。留学やNPO活動に取り組んでいる人もいて刺激になりました。
違う大学にも同じ目標を持つ人がいて、それぞれ頑張っていることを知り、仲間が増えたような気がします。同じ目標を持つ者同士、みんなと一緒に頑張ろうという気持ちになりました！

山間部の小学生との交流

GIGAスクール構想によるICT環境整備により、山間部や離島の小学校ともオンラインでの交流が容易になりました。そこで本年度は新宮町の立花山中腹にある立花小学校の5年生との交流に挑戦しました。オンラインでの交流のため、画面越しで楽しめるように工夫しながら交流しました。

参加者の感想

とにかく子供たちがかわいくて癒やされました。元気いっぱいの子供たちとの交流を通して、先生になりたい気持ちがさらに高まり、これからの大学生活のモチベーションがすごく上がりました！

教育大進学に関心のある高校生との交流

高校生と交流することで、教育大学を目指していた頃の熱い気持ちを思い出すことができるとともに、高校生にとっても目標とする教育大生と交流することで進学意欲を高めることができると考え、新宮高校、鞍手高校、京都高校、春日高校、朝倉高校の教育大進学に関心のある高校生と交流しました。

参加者の感想

私が高校生の時は大学のイメージがあまり持てなかったので、このイベントで大学について知ることができるのは高校生にとって貴重な時間だと思いました。また、高校生と会話する中で、高校時代を思い出したり、改めて考えさせられることがあったりして、私にとっても貴重な時間でした。

参加した高校生の感想

実際に教師を目指し、大学受験も経験した先輩方の話を直接聞くことができ、とても有意義な時間で、いい経験になりました。いただいたアドバイスを学校生活で活かしていきます。そして福教大に合格して先輩方の後輩になれるよう頑張ります！

「教師の魅力再発見！」公開フォーラム

学生の「小学校の先生になる」という目標を後押しすることを目的に、12月に公開フォーラムを開催しました。フォーラムでは、ボランティア学生によるこれまでのプロジェクトの活動報告や、学生の関心が高い「教育実習」「教員採用試験」「初任者研修」の担当者によるパネルディスカッションを行いました。当日は、全国の教育関係者や学生のオンライン参加も含めて、約150名の参加があり、改めて教師の魅力について見つめ直す機会とすることができました。

教育実習

実習生は、初日は非常に表情が硬く、緊張や不安でいっぱいということがこちらにも伝わってきます。しかし、3週間の教育実習を通して生き生きと子供たちと関わることができるくらい成長しています。子供たちも、実習生の先生が自分たちのために一生懸命準備をして授業に臨んでいることが伝わってくるので、何とか応えようと頑張ります。この関係が深まってくることを実感するからこそ、多くの学生が「絶対に先生になります！」と決意して実習を終えていくのだと思います。

附属小倉小学校
白濱　太隆 先生

「小学校の先生になろうプロジェクト」の情報を発信しています！

公式 X　　公式 Instagram

教員採用試験

学校で子供たちの前に立って学習指導ができるのは、教員免許を持っている人だけです。人を育てることに関わる免許を持つということはとても特別なことだと思います。採用試験には、講師経験のある方もチャレンジされますが、実際に教員を経験してみて、その大変さも魅力も感じた上で、「やっぱり先生になりたい。」と思って受験しています。「先生になりたい」という思いを大切に採用試験に挑戦してほしいです。

福岡県教育庁教職員課
中島　正之
人事管理主事

初任者研修

初任者に1年目の感想を聞くと「子供や保護者から『ありがとう』と感謝されたときにとてもうれしかった。」「子供が『できた』『わかった』という姿を見ることができたとき、この仕事をやっていてよかった。」という声が多く聞かれます。子供の成長に寄り添えることがこの仕事の喜びだと1年目の先生方も感じていらっしゃいます。だからこそ、プロとして学び続けることが大切だと思います。初任者研修では、教師としての基礎をしっかりと身につけることができるプログラムが用意されているので、安心して教師を目指してほしいです。

福岡教育事務所
藤木　悠介
指導主事

参加者の感想

教員を目指す上で不安なことも多かったのですが、実際に教育実習、採用試験、初任者研修の立場からの様々な話を聞き、具体的で説得力があってとても勉強になりました。内容も、ただ「教師っていい職業だよ。」というものではなく、大変な部分も伝えつつ、それでも目指す価値がある理由などを話していただけたので、私の「教師になりたい」という思いをすごく後押ししてくれるものになりました。

プロジェクト代表者からひとこと

様々な交流イベントを通して、「小学校の先生になる」という目標をあらためて見つめ直す機会を作れたのではないかと考えています。同じ夢について楽しく自由に語り合う。そんな雰囲気がこの福岡教育大学に満ちあふれ、1人1人が「自分は学校の先生としてやっていくんだ！」という信念や覚悟を持って学校教育の世界に進んでくれることを期待しています。これからもこのプロジェクトの活動に注目していただき、まずは積極的に交流イベントに参加してみて下さい。きっと新しい発見があります。

髙良　祐治 准教授

福教大卒業後、県内公立小学校教諭、日本人学校教諭、附属福岡小学校教諭、町教委・福岡教育事務所・県義務教育課の指導主事、公立小学校教頭を経て令和3年4月から現職

ボランティア募集中！

このプロジェクトでは、交流イベントの企画や運営を行うボランティアも随時募集しています。先生になりたい人、気軽に福教大生のために活動したい人など、プロジェクトのボランティア活動に関心がある人は、XやInstagramのDMで連絡するか、福岡教育大学ボランティアサポートシステムから登録をして下さい。みんなで福教大を盛り上げていきましょう！

特集

うきうきTeacher!

～教師の魅力発見プログラム～

近年、社会全体に働き方改革が求められる中で、教員の多忙・教員不足が社会問題化し、教員を志望する者の減少が課題となっており、全国の各自治体や大学においても様々な取り組みが行われています。

その中で、本学は子供たちの学びと協働的な学びをつくり出すことのできる創造的な仕事である教師の魅力を発信することで、教師を目指す子どもたちを増やすことに寄与したいと考え、昨年度に引き続き、令和5年10月21日（土）に本学主催による「うきうきTeacher!～教師の魅力発見プログラム～」を開催しました。

本イベントは、社会的・職業的自立を目指すキャリア教育の一環として、小・中学生に教師という職に興味や関心をもってもらうことを目標としており、小学校5年生から中学校3年生までの児童・生徒約110名が参加しました。

本学では、今後も教師の魅力を体験できるようなプログラムを充実させ、本事業をより発展的に取り組んで参ります。

当日の各プログラムのようす

赤ペンで花丸!テストをつくって採点してみよう!

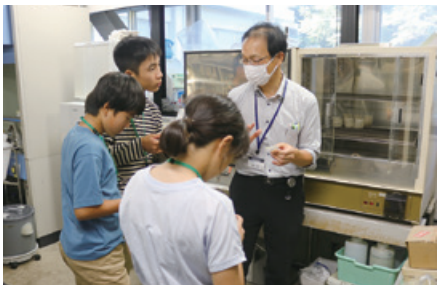
科学実験を体験して、その内容とコツを他の人へ教えよう

息の使い方を学んで、みんなで楽しく歌いましょう♪

大学こどもゼミ「学校の役割やしくみについてみんなで考えてみよう」

「よりよい生活」って何だろう?―家庭科のおもしろさを伝えよう―

身近な算数・数学の話題について考え、日ごろの「なぜ?」を解明しよう!



「DNA・遺伝子のはたらき」の授業での実験をやってみよう!

みんなでチャレンジ!「ようちえんのせんせい」

Small Talk のお手本ビデオを作ろう

漫画のワンシーンを創造して描いてみよう!

うきうきTeacher!についての
最新情報はこちらをご確認ください

参加者の声

- 先生になりたいという夢がよりふくらみました。
- 私は、家庭科の先生になることが夢なので、このような体験ができて、良かったです。
- 先生側からの立場で様々なことを考えてくれているのだなと思いました。
- 先生についての興味がとても深まりました。
- 将来先生になることを視野に入れていこうと思った。
- 人に教えたことがなかったので、新鮮で楽しかったです!

保護者の声

- 自分の考えを聞いてもらえて嬉しそうでした。
- 考える楽しさ、教える難しさ、を学べたようです。来年もまた参加したいと話しています。
- 先生のお話にあったように、「教えること」の難しさや楽しさに気づいてくれたらいいなあと思いました。
- 算数が、身近な世界に意外にもあることに気付かされました。
- 幼稚園でやってもらう側だった子供達が、壁面制作やお話を演じたりとやる側に立って、幼稚園の先生のお仕事の中身を知ることが出来て楽しそうでした。

サポート役を務めた本学学生の声

- 様々な子どもたちと関わることができて楽しかったです。
- 教師になりたいという気持ちが強くなりました。
- 子どもたちの生の声を聴くことができ、教師として授業を行うにあたり大変参考になりました。
- 大学の授業で習ったことを実践できて良かったです。
- 声のかけ方や褒め方などに気をつけて接することができました。

今後の展望

社会連携推進室長　**生田**教授

本年度も、多くの子どもたちの笑顔と出会い、とても楽しい時間を過ごすことができました。みなさま、ご参加いただきありがとうございました。教師、そして、福岡教育大学に関心をもっていただき、とてもうれしかったです。

教師の魅力、そして、福岡教育大学の魅力を伝えようと、2年目の今年は、算数、数学、理科、音楽、美術、家庭、外国語など、魅力たっぷりの10のプログラムを提供することができました。参加のみなさまと一緒に、楽しく活気のある活動を展開することができました。本学の学生もSTAFFとして参加し、子どもたちと接しながら、教師の魅力を再確認する場となりました。

ICTの活用が進み、教育の場も大きく変化しています。その中で「教える・学ぶ」とは何か改めて考えさせられる日々です。しかし、これからも教える・学ぶというやりとりを通して「学び合う」ことの価値は変わらないのではないでしょうか。むしろ、楽しいやりとりをとおして、できないことができるようになったり、得意なことがさらに得意になったりすることでお互いが成長していける、そのような学びの場の価値はますます高まっていくと思われます。

学びの場を創り出し支えるのが教師です。私たちは、うきうきTeacher!の取り組みを通して、これからも教師の魅力を再発見、再確認し、多くのみなさまと共有できるよう発信し、教育の未来をみなさんと共に創っていきます。「魅力を発信することのできるみんなの学びの場へ」今後さらに進化させていきたいと考えています。

福教大 UTEF News

1 令和5年度福岡教育大学未来奨学金授与式を実施

令和5年7月24日(月)に、令和5年度福岡教育大学未来奨学金授与式を実施しました。

「福岡教育大学未来奨学金」は、学生の学業成績の向上及び海外留学を奨励することを目的として、平成24年度に創設され、後援会及び同窓会の寄附により成り立っている本学独自の給付型奨学金です。「福岡教育大学未来奨学金」には、「学業成績優秀者奨学金」と「国際交流協定校派遣支援奨学金」の2つがあります。

今年度は、20名の学生が「学業成績優秀者奨学金」を授与され、2名の学生が「国際交流協定校派遣支援奨学金」を授与されました。飯田学長、河鍋後援会会長、太田同窓会会長からお祝いや激励の言葉が贈られました。

これを受け、学業成績優秀者奨学生代表と国際交流協定校派遣支援奨学生代表から、感謝の言葉とともに「ご支援頂いた皆様方のご期待に沿えるよう勉学に励み、奨学生に選んで良かったと思って頂けるよう、日々精進して参ります。」と決意が述べられました。

未来奨学金授与式

2 令和5年度九州教員研修支援ネットワーク第1回協議会を開催

令和5年12月1日(金)に、「令和5年度九州教員研修支援ネットワーク第1回協議会」をオンライン会議により開催しました。

今回の協議会では、ネットワーク参画機関の約60名が参加し、「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励による研修推進体制の整備について」というテーマのもと、講演や実践報告、ワークショップ等を行いました。

参加者からは、「教員研修履歴システム・研修プラットフォームについての情報を共有でき、とても参考になった。(講演)」「教員研修履歴システムの進め方や育成指標と関連付けた取組について具体的な説明があり、学校への周知方法からサポートの仕方までとても参考となった。(実践報告)」「各県の状況が分かったり、大学教員から違う視点からの話があったりして、有意義な時間となった。(ワークショップ)」等の感想が寄せられました。

ネットワークでは、今後も、協議会の開催などを通じて、教員研修に係る情報や課題等を共有しながら、教員研修の効果的・効率的な実施に資するための取組に努めていきたいと考えています。

実践報告の様子

3 学校法人東福岡学園と高大連携協定を締結

令和5年12月14日(木)に、本学は、学校法人東福岡学園(東福岡自彊館中学校・東福岡高等学校)との間で高大連携協定を締結しました。教育、研究等において組織的な連携協力を推進することにより、それぞれの教育の充実、発展を図ることを目的とするもので、本学としては、私立学校との連携協力協定締結は初の試みとなります。

本学は、東福岡高等学校の校内研修会への講師派遣を長年継続している実績があり、近年は各教科指導力向上を目的とした組織的、計画的な研修を支援しています。これらの交流をきっかけに、より強固な連携協力関係を構築し、相互の発展に寄与すべく協定締結となりました。

連携協定により、東福岡学園の教員研修を支援するほか、本学の学生による教育実習やボランティア活動、共同研究の機会の創出等具体的な取組に新たな視点や工夫を盛り込み、活性化を図ってまいります。今後は相互の理念や特色、教育資源を活かすことにより、教育・研究活動の充実に繋がることが期待されます。

東福岡学園連携協定

4 第21回特別支援教育公開セミナー「盲ろう教育の基礎・基本 ―視覚と聴覚の両方に障害があるお子さんとのかかわり―」を開催

令和5年12月17日(日)に、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 西日本ブランチ広島オフィス 研究員 河原麻子先生を講師にお迎えし、「盲ろう教育の基礎・基本　―視覚と聴覚の両方に障害があるお子さんとのかかわり―」と題して、公開セミナーを開催しました。

本セミナーには、現職教員、本学の学生・教職員、地域関係者など34名の参加があり、盛会のうちに終えることができました。参加者より、「盲ろう教育について疑似体験も交えながら興味深く学ぶことができた」「疑似体験を通して盲ろう児の不安や困り感、教員側の伝え方の難しさを知ることができ有意義だった」「自分が教員になったら、盲ろうの子供と関わる際に生かしていきたい」等の感想が多数あり、本セミナーの高い成果がうかがえました。

盲ろう疑似体験の様子

5 北海道教育大学、大阪教育大学、福岡教育大学が「共同教育課程による博士後期課程の設置に関する協定書」を締結

令和6年1月17日(水)に、北海道教育大学、大阪教育大学、福岡教育大学の3大学が「共同教育課程による博士後期課程の設置に関する協定書」を締結しました。

本協定は、3大学が共同教育課程による博士後期課程を令和7年4月に設置することを目指して、締結したものです。

この協定締結により3大学は、新しい博士後期課程において、これまで各大学が取り組んできた教員養成の実績を活かして、新たな時代にむけた取り組みを進めるため、全国を縦断するネットワークを構築しつつ、学校現場をフィールドとした臨床的研究によって課題解決に寄与する大学教員を養成するとともに、教員養成モデルや教員養成学の開発、個別地域に留まらない全国レベルでの課題解決につながる臨床研究を行うこととしています。

「日本最大・東日本最大規模の教員養成単科大学」である北海道教育大学、「西日本最大規模の教員養成単科大学」かつ「教員養成フラッグシップ大学」である大阪教育大学、「九州最大規模の教員養成単科大学」である福岡教育大学の3大学が共同する、北海道から九州まで全国を縦断した「教員養成単科大学」だけによる博士後期課程の設置は、日本初となります。

なお、これらは現在設置構想中であり、内容は変更となる場合があります。

締結式の様子

6 SDGsクラブのメンバーが九州大学水素エネルギー研究教育拠点を訪問

令和6年1月18日(木)に、本学のSDGsクラブの学生と顧問の石丸教授が九州大学水素エネルギー研究教育拠点を訪問し、水素エネルギー国際交流センターの見学や説明・質疑応答をとおして、環境にやさしくエネルギー安全保障に役立つ水素エネルギーの仕組みや現状について学びました。

福岡教育大学、九州大学水素エネルギー国際研究センターは、ともにESD活動支援センターの「地域ESD活動推進拠点」に登録されています。ESDとは「Education for Sustainable Development＝持続可能な開発のための教育」を指し、地域ESD活動拠点は、様々なレベルで分野横断的に協働・連携してESDを推進することを目的としています。

今回の訪問により、水素エネルギーの普及には、技術的な側面だけでなく、他の再生可能エネルギーとの効果的な連動を可能にするための地域理解などの社会科学的な側面も必要であり、未知のものを受容できる思考力、コミュニケーション力などを軸とした人材育成が必要であることなど、教員を目指す本学学生に有意義な学びができました。

今後も、このような連携・交流をとおして、SDGs達成に向けたイノベーションの社会実装のための人材育成に向けた取組を進めていきます。

九大の西原教授による説明

学生広報チームi-na!と

福岡大学学生広報サポーターとの交流会

学内案内

福大生に福教大のキャンパスを案内しました！
お互いの学部について聞いてみたり、アルバイトについて話したりして、楽しくおしゃべりしながらキャンパスを回りました！音楽教棟のピアノの練習室は福大にはない環境のようで、福大生も驚いていました。福大の食堂は、16 階にあるのだとか…。
福大生と出会ってすぐの活動だったので、初めは緊張していました。ですが、たくさんお話をしてお互いの学校や学部について知っていく中で緊張がほぐれ、楽しくキャンパスを回ることができました。

ご飯を一緒に食べて親睦を深める

お互いの大学広報について話したり、フリートークをしたりした後は、お昼ご飯です。
福大の皆さんと学食で昼食をとり、さらに親睦を深めました！
福教大の学食で、他の大学の人たちが食事をしているのは、なんだか不思議な感覚です。
食事をしながら話していると、もっとお互いのことを知ることができました。福大の学食事情もとても興味深いです。
また交流会の機会があれば、ぜひ福大の学食で食べてみたいです。

各大学の紹介

各大学の紹介では、それぞれの大学の魅力をプレゼンし合いました！福教大ならではの良さもあれば、福教大にはない施設などもあり、新しい発見が多くありました。また、広報チームの活動の様子も異なっていて、これからのi-na!の活動として参考にしたい内容も見つかり、とても有意義な時間を過ごすことができました！

フリートーク

お互いの緊張感もとけてきたため、フリートークを行いました。
今回本学にお越しいただいた福岡大学学生広報サポーターの皆さんは、3・4年生だったため、学校の話だけでなく、自己PRなど就職活動の話を伺うことができました。
広報活動に関しては、お互いの課題点を共有したり、他大学の学生の視点から、教育大学について知りたいことを提示していただくなど、今後の活動に生かしていきたい話ばかりでした。
本学のi-na!は始動し始めてからまだ１年半ほどなのに対し福岡大学の学生広報サポーターは10年目に突入しています。私たちの活動も後輩たちに引き継いでいけるように、活動の学内周知・メンバーの募集に力を入れていきたいです。

福大の皆さんに向けて

福岡大学広報サポーターの皆さん、福教大に来ていただきありがとうございました。真面目な話から何気ない話まで、様々なお話ができて本当に楽しかったです！福岡大学広報サポーターの皆さんからの意見は、私たちでは気づけなかった部分が多く、とても貴重で学びとなる時間になりました。交流会での話を取り入れて、よりよい活動ができるようにこれから頑張っていきます！
また、交流できることを楽しみにしています。

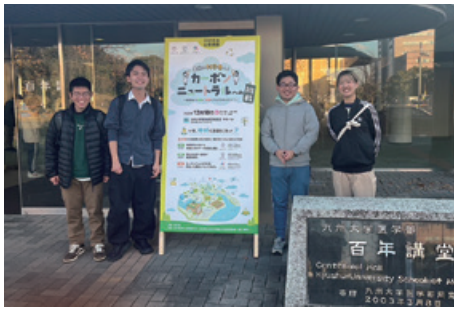
SDGsクラブ

初等教育教員養成課程4年
濱田（はまだ） 康暉（こうき）

私たちSDGsクラブは、V開講科目「持続可能な開発のための教育」の受講者の中から、SDGsについて興味を持っている学生が集まり、昨年度に発足したサークルです。これまでの主な活動を紹介すると、個人単位とサークル全体の取り組みがあり、個人単位では、海岸清掃活動や途上国の環境保全活動、宗像市のまちづくりへの参加をしました。全体の活動では、JICAとの多文化共生カフェを開催したり、アジア各国から本学に来訪した学生とSDGs達成に向けた取り組みについて協議したりしました。

また、宗像市はSDGsの未来都市であるので、伊豆市長を表敬訪問し、私たち学生のSDGsの考えやこれまでに取り組んできた自身の活動経験をお話させていただき、市長からの貴重なお話を伺うこともできました。昨年度末には、宗像市議会を訪問し、議場見学や模擬採決、議員の方々との意見交流会に参加させていただきました。

私たちは持続可能な社会に向けて何ができるかを日々考えながら活動しています。持続可能な社会をつくるためにみなさんができることは、身近にあると思います。みなさんも持続可能な社会に向けて一人一人ができることをやってみませんか。



サークル紹介
CIRCLE INFORMATION

ハンドボール部

初等教育教員養成課程2年
田中（たなか） 璃桜（りお）

現在ハンドボール部は、男子10名、女子8名、計18名で活動しています。昨年度の8月にハンドボールが大好きな仲間が集まって再建しました。初めは人数が集まらなかったり、どのように練習を進めたらよいのかが分からなかったり、苦しい時期もありました。しかし、今は大会に出場できるほどの人数が集まり、楽しくハンドボールをすることができています。シュート練習などの基礎練習はもちろん、4対4や6対6などの実践に近い練習に力を入れています。主に男女合同で練習し、お互い切磋琢磨しながら練習に励んでいます。そのため部員の仲はとてもいいです。プレーの改善点はすぐに解決し、修正できるように話し合いの時間も大切にしています。指導者がいない分、自分たちでしっかり話し合い、全員が同じ方向を向いていけるように試行錯誤しながらチームを作っています。今年度の6月には、九州地区大学体育大会で男女ともに3位という結果を残すことができました。この結果に満足せず、さらに上を目指していきたいと思います。

これからもハンドボール部の良さ、頑張りをもっと発信して、たくさんの人と笑顔いっぱいのハンドボールができたらいいなと思います。

教員紹介 & 学生から見た先生の魅力

学校教育研究ユニット
准教授 日髙（ひだか） 和美（かずみ）
最終学歴：九州大学大学院人間環境学府 発達社会システム専攻
職　　歴：九州共立大学（教職課程担当）
取得学位：博士（教育学）
本学着任：2019年10月

多面的な視点を踏まえ、自分なりの視点を見つける

専門の研究テーマ

授業では、「ボランティア実践入門」や「九州地域の教育フィールド研究」、「教育の制度と経営」、「教職論」等幅広く担当させて頂いていますが、私の専門は教育行政学です。

教育行政学は非常に幅広い学問ですが、私は大学院時代より学校評議員や学校運営協議会（コミュニティ・スクール）制度を導入した自治体の教育行政―学校間関係について研究を進めてきました。このほか、教職課程政策における中央教育行政―大学間関係についても関心を持っています。

研究に関する共著書

大学教員に進むことになったきっかけ

師匠との出会いです。「教育行政学」を学びたいと思い大学院に進学し、それをさらに研究したいと博士課程に進学しましたが、正直「大学の教員になれる」とは思っていませんでした。その意味で、当時の私は積極的なのか、消極的なのかわからない学生であったと思います。そのような私に、師匠は大学院進学を含め、人生の節目において背中を押してくださいました。私も師匠のように、学生の状況に寄り添い、サポートできるような大学教員になりたいと思っています。

ゼミの様子

研究成果の教育への還元

学校運営協議会制度の研究の関係で関わらせていただいた春日市や水巻町などの学校運営協議会委員として実際の制度運営や活動、時には研修等を担当させて頂いています。これらの経験やネットワークを授業内で還元するよう努めています。

こだわりの物・考え・モットー

授業やルーム（卒業研究等）指導の際に心がけているのは、多面的な視点を提示し、説明することです。多面的な視点を踏まえた上で、学生自身が考え、自分なりの視点を見つけてほしいと願っています。

福岡教育大学で学ぶ学生に一言

4年間の中で、教育分野に限らず幅広い経験を沢山積み、色々な方とかかわり、多様な視点や考えに触れてほしいと思います。

学生から見た先生の魅力

高木（たかぎ） 睦貴（むつき）さん（初等教育教員養成課程　令和4年度卒業生）

日髙先生のルームでは，主に教育行政に焦点を当てた研究を行っています。文部科学省や教育委員会による、対応や施策を研究することで広い視野の教育に関する研究を行うことができます。研究を行っていく上では、日髙先生のアドバイス等をいただきながら、自らがやってみたい研究を最大限に行うことができます。また、研究室も大学図書館と同じ建物内にあるため、アクセス面においても非常に良い環境だと思います。そして、日髙先生のルームでは他大学との交流が存在しています。そのため、幅広い研究テーマを知ることができ知見が広がる可能性が大いに期待できます。また、他大学の方から講評をいただく機会もあるため、新たな視座からの検討や別の切り口などを見出せる可能性もあり、非常に有意義な研究活動が行えると思います。

ルームの学生と

合唱コンクール

教師としてのやりがい

教師としてのやりがいは、本気で綺麗事が言えるという点に尽きると思います。

クラスで誰かが傷ついたとき、誰かが行事で仲間のために全力を出せないとき、いろんな場面で私たち教師は綺麗事を語ります。綺麗事が通る学級を作らなければ学級は崩壊してしまいます。だからこそ本気で綺麗事を語り、身をもって実行していく。そうやって、それが通る集団、空間を作っていきます。

この世で、本気で綺麗事を語れる仕事は政治家と教師だけだと思っています。綺麗事が通る世の中になるための「きまり」や「仕組み」を作るのが政治家で、「綺麗事を現実にする人」を作るのが教師だと思います。

最高にやりがいのある仕事です！

体育会

現在の仕事、取り組んでいること

現在、福岡市道徳教育研究会の事務局長と、福岡市理科研究会の研修係長をしています。

また、昨年はエネルギー環境教育について勉強させていただきながら全国大会で発表もさせていただきました。忙しい日々ですが、たくさん学ばせていただけてとても充実しています。「学ぶこと」と「笑うこと」って人間だけに許された最高の贅沢だと思います！今回、人間に生まれたからには学んで、笑って最高の毎日を送っていきたいと思っています！

六ケ所村視察

全国大会実践発表

教職を志す学生さんへ

教職に就くことへのネガティブな情報にたくさん出会う昨今ですが、そんな中でも教職を志す人がいるのはなぜでしょう？

残念ながら学校には儲け話が来ません。学校ではなかなか名声は手に入りません。

それでも未だに教職を志す方がいるのは、学校が「儲ける場」でなく、「有名になる場」でもなく、「憧れをつなぐ場」だからだと思っています。

一緒に、学校現場で「憧れの先生」を目指しましょう！お待ちしています。

高宮フェスタ（サプライズ）

福岡市立高宮中学校
教諭　壱岐（いき）　龍慎（たつのり）さん

・中等教育教員養成課程　理科専攻
（2013卒）

アンケートに答えて福教大オリジナルグッズをGET！

今後のよりよい誌面作りのため、皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。
アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で5名様に『福岡教育大学オリジナルグッズ3点セット』をプレゼントします。
※当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

こちらのフォームからご応募ください。

応募締切
令和6年5月31日（金）

<アンケートにおける個人情報の取扱について>
ご提供いただいた個人情報は、プレゼントの発送以外には使用致しません。

福岡教育大学オリジナル
サインペン＆ボールペン＆メモ帳

i-na!メンバー募集中！！

学生広報チームi-na!です。
今回は福岡大学広報サポーターの皆さんとの交流の様子を紹介しました。
私たちは広報誌の作成だけではなく、Instagramでも宗像市のおすすめスポットや、福教大生の生活など皆さんの役に立つ情報発信を行っています。そして、私たちと一緒に活動するメンバーを募集しています。写真を撮るのが好き、福教大を盛り上げたい、などどんなきっかけでも大丈夫です！興味のある方はぜひInstagramにご連絡ください！
お待ちしております！！

UTEF.I_NA_
i-na! Instagram

一緒に福教大を盛り上げましょう！

福岡教育大学基金のご案内

福岡教育大学では、教育研究の更なる発展や充実を図ることを目的として、「福岡教育大学基金」を設けております。
特に「修学支援事業基金」では、経済的理由により修学に困難がある学生が、希望する教育を受けられるように、皆様からいただいたご寄附を、学生のために特化して活用します。
寄附をされる際に、「修学支援事業基金」と事業を特定してください。
広く教育界、産業界、地域の皆様方に、本基金への格別のご理解とご支援を末永く賜りたく、お願いを申し上げます。

福岡教育大学は、明治6年に「学科取調所」として設置され、令和5年に創基150周年を迎えます。創基150周年を節目とし、教育研究の更なる発展や充実を図って参りたいと考えておりますので、更なる基金へのご協力をお願い申し上げます。

公式ホームページ　福岡教育大学基金　検索

インターネット（クレジットカード払い）による寄附金の受付を開始いたしました。

お問い合わせ先
福岡教育大学財務企画課
TEL:0940-35-1218　FAX:0940-35-1701　E-mail:kaihosa@fukuoka-edu.ac.jp

Campus Letter
キャンパスからの便り

後援会
「後援会だより」第88号発行のお知らせ

「後援会だより第88号」を12月に発行し皆様に送付しました。今回は就職支援・成績確認・学祭などに加え、教育実習・採用試験の体験談を掲載しています。

後援会に対するご意見ご要望などがございましたら、下記事務局までご連絡ください。

福岡教育大学後援会 事務局
TEL・FAX：0940-33-8070
E-Mail：kouenkai@eos.ocn.ne.jp

教職大学院同窓会
3年ぶりの対面による教職大学院同窓会開催

本同窓会は、会員の親睦と母校の発展に寄与することを目的として活動しています。本年度は7月29日（土）に、約3年ぶりに対面での会を開催しました。当日は、吉藤オリィ様より「人類の孤独を解消するリレーションテック」と題した講演をいただき、教育活動を見つめ直す大変貴重な機会となりました。また、情報交換会では修了生と現役院生の親睦を深めることもできました。今後とも本同窓会への御支援・御協力をお願いいたします。

事務局長　山田雅人
福岡教育大学教職大学院同窓会事務局
fuedousoukai@gmail.com

講演いただいた吉藤氏

同窓会城山会（じょうやまかい）
「城山同窓の集い」を開催

コロナ禍を乗り越え、10月29日（日）に第19回「城山同窓の集い」を4年ぶりに筑豊地区のがみプレジデントホテルで開催。参加総数240名と大盛況でした。

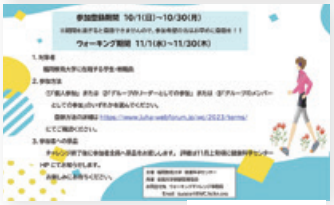
県外支部、県内支会は言うに及ばず、学長　飯田慎司様をはじめ大学役員の皆様、福岡県立美術館長　寺崎雅巳様に加え県教育庁、筑豊地区教育委員会教育長の皆様、及び、多数の来賓の方々をお迎えする実り多き会でした。

参会者一同、教育や若い頃の思い出話に花が咲き、今後の城山会活動活性化への思いをより強く共有し、同窓の絆と交誼を深める有意義な会となりました。

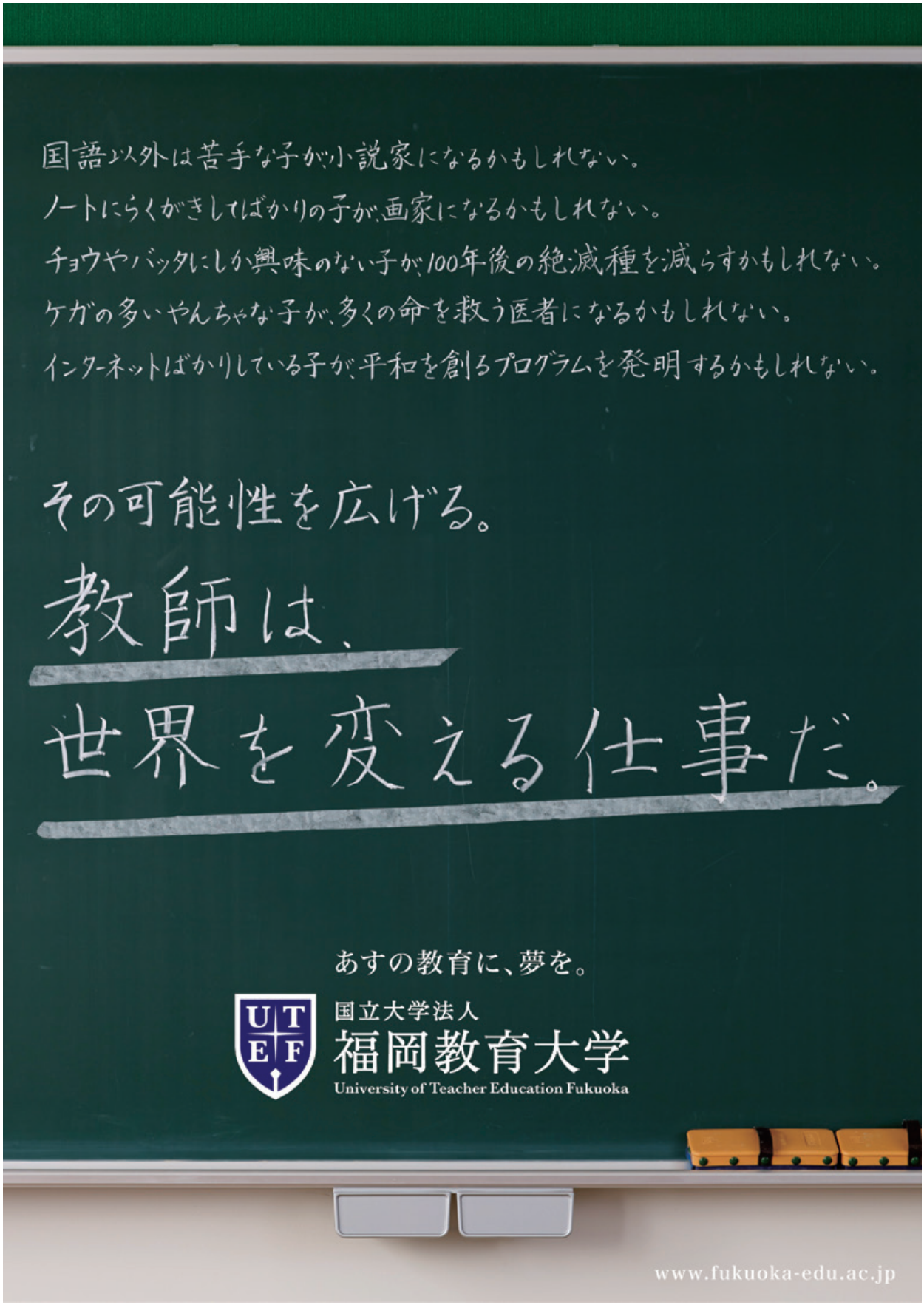
福岡教育大学同窓会　城山会事務局
TEL・FAX：0940-33-2211
E-Mail：jouyamakai@able.ocn.ne.jp

健康科学センター
ウォーキングチャレンジ2023に参加しました

全国保健管理研究集会主催の「ウォーキングチャレンジ2023」に参加しました。昨年度よりも多くの教職員・学生が参加しました（今年度参加者48名）。参加者には「お茶・栄養補助食品」または「入浴剤・アイマスク・蒸気の温熱シート」の景品を準備し、頑張りを称えあいました。



健康科学センターHP



Joyama通信 vol.55

福岡教育大学広報誌第55号 2024年3月5日
編集発行: 国立大学法人 福岡教育大学 経営政策課

〒811-4192　宗像市赤間文教町1-1
TEL.0940-35-1205　FAX.0940-35-1259
e-mail: kouhou@fukuoka-edu.ac.jp
ホームページ: https://www.fukuoka-edu.ac.jp/

福岡教育大学
イメージキャラクター
フッキー

大学HP　Twitter　YouTube

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。